

磯子地区管路中詰補修工事



工事概要

工事名 : 磯子地区管路中詰補修工事
発注者 : 東京電力株式会社
工事場所 : 神奈川県横浜市磯子区
工期 : 平成16年12月13日 ~ 平成17年3月22日
工事内容 : 粉体充填工(吹込式) ... φ1800(本管φ300×4、φ150×5)
 〔 No.77MH~No.78MH...充填延長316.819m 603.483m³
 No.76MH~No.77MH...充填延長312.112m 594.517m³
計1198m³

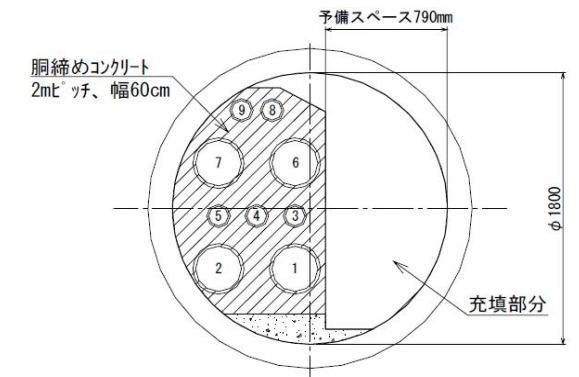
充填材料...J P パウダー(セメント5%)
 輸送管布設工(坑内布設)...619m
 鞘管閉塞工...4ヶ所
 仮設備工(坑内照明・坑内換気・ドリップチューブ)...1式

施工状況

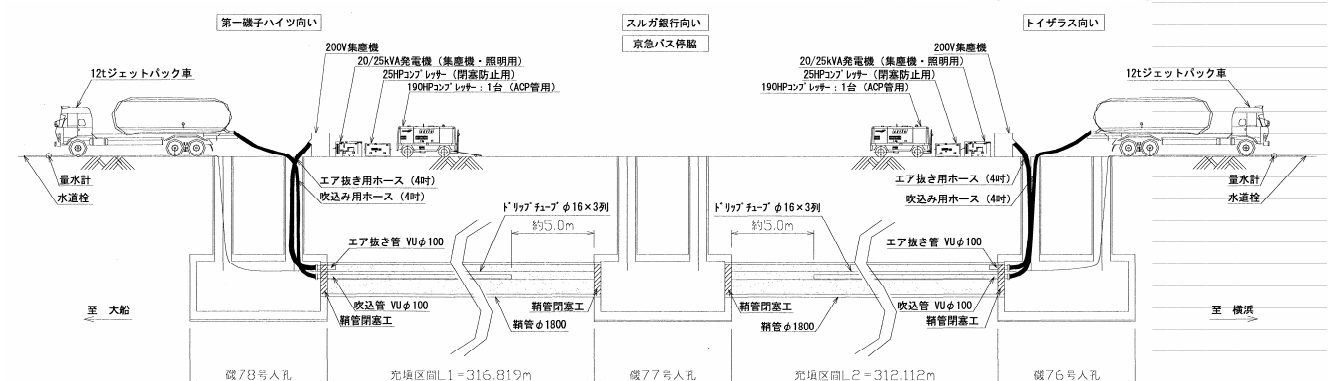
ＪＲ礪子駅前の礪子産業道路歩道部真下に昭和44年に構築された、φ1800送電用シールドトンネルの内部にＡＣＰ管9本（φ300×4d，φ130×5d）が布設されていましたが、シールド内面の鋼板の錆び、ＡＣＰ管及び胴締め劣化が著しいことから、鞘管内の余剰部分をＪＰＧ工法で補修することとなりました。

工事場所である磯子産業道路は交通量が多く、幅員15.0mの4車線道路となっているため、4車線のうち1車線に12tジェットバック車を停車させ、吹込式により充填を行いました。

電力管内の空隙を中詰めする際、送電容量の低下を引き起こさないよう固有熱抵抗値（G値）が低い充填材を用いる必要がありますが、当社と東京電力（株）の研究により、セメントを5%添加したJPパウダーがG値 75・cm/w以下という適用基準を満たすことを確認でき、現在電力管路充填の標準工法としての採用が考えられています。



收容管路：ACP $\phi 300 \times 4$ 本、ACP $\phi 150 \times 5$ 本



粉体搬入状況



管内充填状況

お問い合わせはJPG工法協会までお願い致します
TEL:03-6763-0551 FAX:03-6763-3154